

6.24 Match Day Program

決戦、浅中天王山。関ヶ原から僅かなこの地で両雄激突！



勝利あるのみ! vs 静岡FC戦

なぜ？今日の試合が重要なのか

Jリーグへ上がっていくためには、この社会人リーグの1つ上のカテゴリーJFL(JAPAN FOOTBALL LEAGUE)にまず上がらなければならない。このJFLにあがるために、社会人リーグ決勝大会がその前にあり、東海社会人リーグに与えられた挑戦権の枠は1。静岡FCもこの挑戦権を得たいがため思いがぶつかるFC岐阜との一騎打ちになった。(全国社会人大会優勝で決勝大会に進む道もあるはあるが・・・)開幕戦で1-1の引き分け、その後違うチームと対戦してきて両チームとも負けない状況では今日の試合勝ったチームがこの挑戦権を獲得できると、まずみて問題ないだろう。だから今日のこの試合が天王山になった。

Jへの第一関門。静岡FCとは、

昨年まで4年連続地域大会決勝で惜しくもJFL行きを逃している東海リーグの雄、無敗で東海リーグを勝ち上がった年もあった。FC岐阜に比べ若い選手が多く身長の高い選手も多い。選手は全員勤務先が静岡FCというように全員プロ登録に値する。試合運びはドリブル突破やロングボール放り込みの攻めが中心で主に左サイドからが起点になりやすい。中盤はかなりポジションチェンジを繰り返し相手を翻弄し攻めまくる強力攻撃陣。(第3節の7得点は相手中央防犯本職GK不在でDFが代役だったが・・・)現在東海リーグアシスト王の長友のパスにリーグ得点王の下司が決めるのが静岡の黄金パターンか？岐阜としては、この長友を完全に封じたいところ。守備陣はここまで7試合で6失点、完封勝ちが2試合しかなく、マルヤス工業戦では2失点、そこに欠点があるはず。集中力の継続がこのチームの鍵になる、FC岐阜はそこについて勝ちに結び付けたい。

■ 静岡FC (6勝1分/勝ち点19)

得点 26 失点 6 得失点 +20

■ 予想スタメン(上:静岡FC 下:FC岐阜)



■ FC岐阜 (6勝1分/勝ち点19)

得点 17 失点 1 得失点 +16